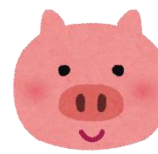


豚丹毒



豚の病気



人獣共通感染症
人にもかかる
可能性がある病気



届出伝染病

原因

豚丹毒菌という細菌が原因。
菌は扁桃，糞便，豚舎の敷料，土壌や汚水に存在。
口から入って感染し，
3～6ヵ月齢の肥育豚でよく見られる。
豚丹毒菌は豚から人に感染することがあり，
この場合は類丹毒という。

症状

敗血症型 発熱が見られた後1～2日で急死することがある。
蕁麻疹型 皮膚に特徴的な菱形の発疹ができる。
心内膜炎型 心臓の弁にイボ状の結節ができる。
外見的な症状はあまり見られない。
関節炎型 四肢の関節の腫れ
脚に痛みがあるため脚を引きずったり，
発育が遅れたりする。

予防

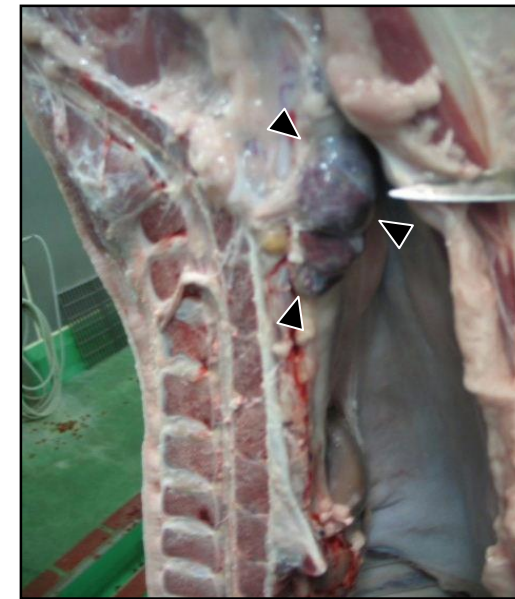
適切なワクチン接種と豚舎の衛生管理の徹底。

処分

全部廃棄（枝肉も内臓もすべて廃棄処分となる）



特徴的な皮膚の菱形疹（蕁麻疹型）



リンパ節の充血と腫れ（関節炎型）